

Rio+ Aqua Pump Powerhead

●リオプラス・パワーヘッド●

50、90、180、200、400、600、800、1100、1400、1700、2100、2500、3100、

取扱説明書



リオプラス・パワーヘッドをお買い上げいただきありがとうございます。製品をお使いいただく前に注意深く読み、よく理解してください。この取扱説明書はいつでも取り出せるところに大切に保管してください。

日本輸入総代理店
観賞魚を科学する

発売元 **カメイ**

〒670-0073 姫路市御立中3-3-20 Tel. (079)297-5420 Fax. (079)293-6467
ホームページアドレス http://www.kamihata.co.jp

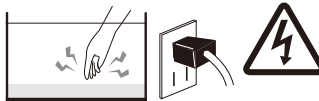
製造元 MORE PRODUCTION MADE IN TAIWAN

安全にお使いいただくために

警告・注意などをよく読み、理解してからご使用ください。誤った使い方は人や生体、器具類の火災、感電、故障など重大な事故の原因となりますので必ずお守りください。

警告

生体の出し入れ、掃除・点検・移動などで水槽内に手を入れる時は必ず、すべての電源を抜いてください。(感電の恐れあり)



交流 (AC) 100V以外での電源使用はしないでください。(感電、発火の恐れあり)



電源プラグやコンセント部は濡らしたり、濡れた手で触らないでください。(感電、発火の恐れあり)



本体を改造して使用しないでください。(感電、発火の恐れあり)



電源プラグの刃の部分やコンセントの汚れやほこりは定期的に取り除いてください。(発火の恐れあり)



本製品は水中専用ポンプです。必ず水中にセットしてください。空気中での空回しはしないでください。(誤作動、故障の恐れあり)

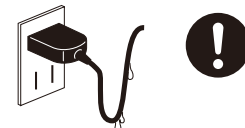


注意

屋内の観賞魚飼育専用が開発されています。屋外や観賞魚飼育以外では使用しないでください。(感電、発火、故障の恐れあり)



コードに水が伝わってコンセント部を濡らさないようにしてください。コードをたわませて水を逃してください。(感電、発火の恐れあり)



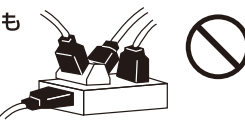
コードを傷めないでください。[曲げすぎない、引っ張らない、重量をかけない、たばねない、加工しないなど。](感電、発火の恐れあり)



本体を落としたり、ぶつけたりして傷をつけないでください。(感電、発火、故障の恐れあり)



電源プラグはきちんと差し込み、タコ足配線もしないでください。(発火の恐れあり)



本製品はON OFFの繰り返しを続けるような装置に接続して使用しないでください。(停止・故障の恐れあり)



本製品は50Hzと60Hzにわかれていますので、ご使用になる地域の周波数に合わせてお選びください。



電源プラグを抜く時はコードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。(感電、発火の恐れあり)



セットの仕方 (リオプラス50、90、180、200、400、600、800)

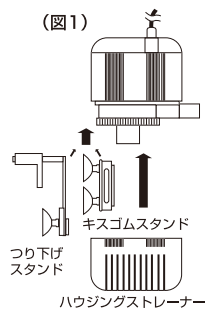
■十分なエアレーションを行うために必要な水深の目安

Rio+ 50~90	Rio+ 180~200	Rio+ 400~600	Rio+ 800~3100
~2cm	~5cm	~7cm	~10cm

5.お好みのセットを選び、すべてを接続したのち、確認してから電源を入れてください。

セットの仕方 (リオプラス1100、1400、1700、2100、2500、3100)

1.パワーヘッド本体にキスゴムスタンドかつり下げスタンドのどちらかを選び、セットします。その際、まずハウジングストレーナーをはずし、本体後ろの溝に沿ってどちらかのスタンドを差し込み、再びハウジングストレーナーを戻します。(図1)



2.パワーヘッドのみで使用する場合は、リオプラス50~800に同じ

3.底面フィルター用として使用する場合は、リオプラス50~800に同じ

4.エアレーションをする場合は、リオプラス50~800に同じ

5.お好みのセットを選び、すべてを接続したのち、確認してから電源を入れてください。

6.運転後は水が流れているか確認してください。 ※使用例は裏面をご覧ください。

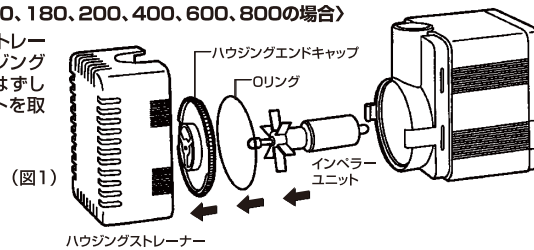
お手入れ・メンテナンス

長期間使用していると本体内部やインペラーにゴミや水アカが付着し正常に作動しなくなったり、故障の原因となるので定期的に必ず点検、掃除を行ってください。

- 1.電源プラグを抜いてください。
- 2.水槽よりパワーヘッド本体を取り出してください。

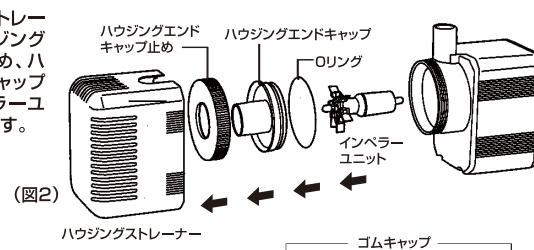
〈リオプラス50、90、180、200、400、600、800の場合〉

まず、ハウジングストレーナーを取り、ハウジングエンドキャップをはずしインペラーユニットを取り出します。(図1)

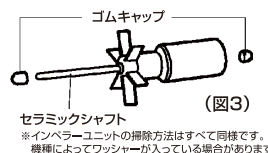


〈リオプラス1100、1400、1700、2100、2500、3100〉

まず、ハウジングストレーナーを取り、ハウジングエンドキャップをはずし、インペラーユニットを取り出します。(図2)



4.インペラーユニットを掃除します。インペラーのゴムキャップを取り、セラミックシャフトを抜き、摩擦していないか点検します。(図3) やわらかい布などでインペラー及び本体内部に付着したゴミや水アカをふき取ってください。



5.点検が終われば、逆の順で組み立てます。
6.元の通りにセットしなおした後、電源を入れます。運転後はうまく水が流れているか確認してください。

※インペラーユニット、Oリング、キスゴム、エアチューブは消耗品ですので定期的に交換してください。(交換用パーツの仕様参照) その他のパーツに関しては消耗品ですので都度交換してください。

※掃除やお手入れの際には、お湯、アルコール、シンナーなどは使用しないでください。変形、変質、変色の恐れがあります。洗剤は、飼育している生体に影響をおよぼす恐れがありますので、使用しないでください。水やぬるま湯に濡した布を固くしぼってご使用ください。

- ⚠ 感電を注意する表示
- 🔌 電源プラグからコンセントを抜く指示
- 🚫 一般的な禁止の通告
- ❗ 使用者の行為を示す表示

本体のコードは使用中に水中で劣化が進み硬化してひび割れを起こすことがあります。定期的に点検してください。(感電、故障の恐れあり)



小さなお子様には操作させたり、本体にさわったり、いたずらをさせないでください。(感電、発火、故障の恐れあり)



海水水槽で使用する場合は、電源プラグやコンセント部への塩だれに注意してください。いつも点検し、ふき取ってください。(漏電、発火の恐れあり)



1日1回はパワーヘッドが正常に作動し、水流が正常であることを確認してください。(観賞魚が死に到る恐れあり)



他の人に譲り渡す場合は必ずこの取扱説明書もいっしょにお渡しください。



使用中、異常が発生した場合は使用を中止し、生体の保全と安全のための適切な処置を行ってください。



底砂をご使用の際は、吸い込みを防ぐため、十分な距離をあけてください。(停止・故障の恐れあり)



ポンプは水槽システムの要です。24時間休みなく稼働しているため、インペラーの摩耗、モーター劣化等により故障する事があります。大切な魚のために予備のポンプをご用意頂く事をおすすめします。



リオプラス・パワーヘッドには異常過熱防止装置を内蔵しております。なんらかの原因で長時間インペラーが止まるとポンプ本体が過熱し、異常過熱防止装置が作動してポンプは停止します。ポンプが正常に作動しているか、定期的にご確認ください。



Q&A 故障かなと思った時

Q パワーヘッドが作動しない。

- A ●電源コードが抜けていませんか?
処置→コンセントへしっかりと差し込んでください。
- パワーヘッドが水中にありますか?
処置→パワーヘッドをきちんと水中にセットしてください。
- ゴミなどが詰まっていますか?
処置→ハウジングストレーナー、モーターハウジング、インペラーユニットを洗浄、掃除してください。
- インペラーのセラミックシャフトが破損していませんか?
処置→新しい部品と交換してください。
- インペラー室のセラミックシャフトがきちんと位置に収まっていますか?
処置→インペラーをもう一度入れ直してください。
- パワーヘッドの中のマグネットが中立の位置にありますか?
処置→インペラーユニットのマグネットは、本体内部の磁力と反発しあって動きます。マグネットが、本体内部の磁力と中立の位置で均衡がとれていると、パワーヘッドは動きません。電源を入れたり、はすしたりを数回繰り返して行ってください。中立の位置からはずれ、作動しはじめます。

電源を入れたまま、水が流れない状態やモーターの動かない状態で放置しますと熱をもって、故障の原因になりますので、十分ご注意ください。

Q 水流が弱く水の流れが悪い、異常音がある。

- A ●ゴミなどが詰まっていますか?
処置→ハウジングストレーナー、モーターハウジング、インペラーユニットのゴミを取り除いてください。
- 流量調節付流出アダプターつまみの位置が小さくなっていませんか?
処置→つまみを最大の方へ回してください。
- パワーヘッドが水中にありますか?
処置→パワーヘッドをきちんと水中にセットし、電源を入れてください。
- インペラーユニットが破損もしくは摩耗していませんか?
処置→長期間の使用によりインペラーは摩耗してきます。新しい部品と交換することをおすすめします。
- 揚程の範囲を超えていますか?
処置→水を押し上げる範囲が長いと水の流れは悪くなります。揚程の範囲を守ってください。
- パワーヘッドを空気中で空運転させていませんか?
処置→空運転をさせるとガラガラという音がありますが、水中に入れて作動させると音はしなくなります。故障ではありません。

Q エアが出ない。出にくい。

- A ●エアチューブの先が水中から出ていませんか?
処置→エアチューブの先が水面より下にならないように、パワーヘッドの取り付け位置を調整してください。あまり深く設置すると、水圧がかかりエアが出にくくなる事があります。セットの仕方の項目にある表を参考にしてください。
- 流量調節付流出アダプターつまみが調節できていませんか?
処置→流量調節付流出アダプターつまみを全開にしているかエアがかみにくい場合があるので徐々につまみを絞りをしながら流速を調整してください。(流量調節付流出アダプターつまみを絞りにすぎると泡が出なくなるので泡の出る位置で微調整を行なってください。)
- エアチューブの中に水が入っていませんか?
処置→エアチューブの中の水を取り除いてください。
- この項にしたがって点検されても異常が解消しない場合は 販売店または弊社にご相談ください